



Lion 最上川



ガバナー・テーマ

友愛、奉仕 そして未来への約束

アクティビティスローガン

「地域に新たな風を」

～踏み出そう前へ みつけよう新たなウィ·サーブ～

今期を振り返って P2

第 65 回地区年次大会 P4

第3回・第4回キャビネット会議 P9

2018～2019 グランプリ受賞 P10

ウイサーブ選手権 P11

周年記念式典 P12

一年を振り返って P14

マンスリーレポート P21

発明は俺の命 P22

今期を振り返り

「今期を振り返って 友愛、奉仕そして未来への約束」

ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区
地区ガバナー L. 浅賀 隆 (藤島LC)



花に三春の約ありの言葉通り、いつもの年と同じように若葉が芽吹き桜の花が満開を迎え、やがて藤島の町花でもある藤の花が咲き誇る季節を迎えるました。

思い起こせば第二副地区ガバナーの受講する韓国・釜山で開催された「上級リーダーシップ研究会」を皮切りに、「第 56 回オセアルフォーラム（台湾）」、「第 100 回ライオンズ国際大会（シカゴ）」への参加や数々の研修を経験し、アメリカ・ネバダ州ラスベガスで開催されましたガバナーエレクトセミナー、そして第 101 回ライオンズ国際大会に参加し女性初の国際会長でありますグドラン・イングバドター国際会長の任命によりガバナーに就任することができました。

地区運営にあたりましては今年度ガバナーテーマであります「友愛、奉仕そして未来への約束」、アクティビティスローガン「『地域に新たな風を』踏み出そう前へ、みつけよう新たなウィ・サーブ」や、地区運営方針、地区重点事業をご理解いただき、ゾーンチェアパーソン、副ゾーンチェアパーソンのリーダーシップのもと 56 クラブ三役の皆様方はじめ会員の皆様より特段のご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。

地区 8ヶ所で行われました公式訪問に於いては様々なお願いをさせていただきました。今年度から 3 年間に亘る LCIF100（ワンハンドレッド）キャンペーンは地区目標 18 万ドルとハードルの高い設定金額でしたが、あと少しで目標達成に近づいております。そしてまた国際会長、GST が本年打ち出し

ました LC I フォーワード奉仕フレームの 1 つである糖尿病については今年度地区の最重点事業として、地区に於いて、またクラブに於いてその啓発事業に取り組んでいただきました。地区に於いては糖尿病レシピコンテスト（FWT、GLT、GST 合同）、糖尿病に関する講演会（GST）を実施いたしました。

会員増強に於いては当初 1,980 名からのスタートでありましたが 2,000 名以上の会員で次年度にバトンタッチしたいと考えております。最後までご協力をお願ひいたします。今年度は「西日本豪雨災害」、「山形大雨災害」、「北海道胆振東部地震災害」と自然災害が多く発生しアラート委員会を中心に支援活動を行いました。会員の皆様には LCIF へ 1,500 円の義捐金を出していただき、誠にありがとうございました。

奉仕はライオンズの存在理由であり私たちがクラブに加わるのも留まり続けるのもそのためなのです。これからも地域に必要とされる、地域のニーズに応える新しいアクティビティを見つけ出し、友愛と相互理解の精神を奉仕の基軸に据え、地域社会のために活動していきたいと思います。

結びに第 65 回地区年次大会には 800 名近い会員のご参加をいただき、成功裡に終ることができました。この一年間を共に歩んでいただきましたキャビネット役員の皆様、そしてキャビネット事務局の皆様にも心より感謝申し上げ、332-E 地区の今後益々の発展を祈念しご挨拶といたします。一年間、ご協力誠にありがとうございました。

今期を振り返って 「ご協力に感謝」



ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区

キャビネット幹事 **L. 佐 藤 吉 一**
(藤島LC)

浅賀ガバナーが第二副地区ガバナーになった2年前、キャビネット幹事との指名を受け軽い気持ちで引き受けた私がありました。昨年5月より次期ゾーンチェアパーソン、次期クラブ三役セミナーより本格的に始動、2年連続の5リジョン2ゾーンからのガバナー誕生というイレギュラーな状態の中、すべての会議を鶴岡開催ではなく出来るだけ真ん中で開催することに心がけました。5リジョンの役員の方にはご苦労掛けました。

7月のラスベガスの世界大会、帰ってくると西日本豪雨災害、第1回キャビネット会議、YCEの受け入れ、ビアパーティを10か所程度こなしているうちにお盆休みで一息、お盆休みが終われば公式訪問8か所、周年記念式典数か所をこなし、11月末の第2回キャビネット会議、名誉顧問会議、だんだん年次大会の準備も始めなければと第1回実行委員会を開催、あっという間に正月を迎えた。各種新年会を10か所程度こなしているうちに

年次大会も本格的に段取りしなきゃと年次大会実行委員会も本格的、名誉顧問会議、第3回キャビネット会議、ウイサーブ選手権予選、糖尿病講演会、アラート委員会、ウイサーブ選手権本選、第4回キャビネット会議（表彰審査会も兼ねちゃお）周年式典、年次大会実行委員会、本当にまともに年次大会が開催できるだろうかと不安になった時もあったがそこは勢いで乗り切り、4月27日年次大会成功。ゴールデンウイークで一休み、5月には若手フォーラム山形、年次大会反省会2回こなし複合の年次大会、キャビネット報告会で終了。あっという間の1年がありました。最上川編集局も素敵な広報ありがとうございました。

今期はLCIF100キャンペーン初年度、会員拡大、糖尿病の3つの課題に対し、ゾーンチェアパーソンには非常にお世話になりました。ありがとうございました。キャビネット役員にも大変お世話になりました。そして副幹事副会計の皆さん完璧な動きに感謝しています。また何もわからない幹事に対し的確な補助をしていただいたキャビネット事務局の森谷さん伊藤さん本当にありがとうございました。

様々な体験と意志決定の数々、良かったことも間違っていたこともあったんだろうと思いますが皆様の友情に感謝します。私にとって素晴らしい経験の1年がありました。感謝感謝。

今期を振り返り 「一年間ありがとうございました」



ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区

キャビネット会計 **L. 成 澤 剛**
(藤島LC)

今期の地区キャビネット会計を仰せつかり皆様からは多くのご協力をいただきました。

ガバナーテーマ

「友愛、奉仕、そして未来への約束」

アクティビティスローガン

「地域に新たな風を」

～踏み出そう前へ 見つけよう新たな
ウイサーブ～

ガバナーの思いをどこまで実践できるか、また私自身お役に立てるか大変不安に感じた事を思い出します。しかしながらガバナー、幹事、各委員会の皆様そしてキャビネット事

務局には大変お世話になりました。

今年度は自然災害が非常に多い中、アラート委員会の積極的な活動、そしてFWT及び各クラブに於いては糖尿病に関わる取り組みなど大変素晴らしい成果を上げたように感じます。各種会員の皆様にはLCIFといった金銭的な負担のみならず基本である奉仕活動の実践には頭が下がる思いです。

三役と言う要職に就いて初めて知った事が多々ありました。また各種セミナー、ガバナー公式訪問等、皆様には温かく接して頂いた事に感謝申し上げまと共に、私自身が自己研鑽の大変さに気が付いたように思います。

キャビネット会計として様々な場所で多くの人と巡り合い貴重な体験をさせて頂きました。今後もライオンズの誓い、ウイサーブの精神を忘れずに社会貢献に一層励んでまいりたいと思います。

関係者の皆様に戴いたご協力、ご支援に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

第65回地区年次大会

開催日 2019年4月27日(土)
開催場所 鶴岡市藤島体育館

大会テーマ 「集い、語ろう、ライオンズの夢、未来」

感謝と御礼

大会委員長

L.朝比奈 友 明



藤の花が咲き誇り本格的な新緑のなか、新元号が令和になり新天皇陛下が御即位なされて社会全体が盛り上がっている今日この頃、会員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第56回年次大会開催の際には県内56クラブの会員の皆様方から多数のご参加をいただき、又ご協力を賜りホストクラブ一同衷心より感謝申し上げます。開催行事のにぎわい広場におかれまし

ては雨と風が強く気温も低く大変なご不便をおかけしたことにつきましては深くお詫び申し上げます。会場、式典、晩餐会、チャリティコンサートにつきましては、よかったですと言葉もあり少しは救われたかと思っているところでございます。主催者側といたしましては、不行き届きなところもあったかと思いますが、まがりなりにも盛会に無事終了することができましたことに衷心より御礼申し上げます。計画、準備、大会、後始末迄ホストクラブの皆様には大変ご苦労をおかけし誠にありがとうございました。

それぞれのクラブの会員の皆様の益々のご繁栄と友愛と信頼の絆を深め、より良い社会を築く活動を心よりお祈り申し上げ御礼のことばとします。

誠にありがとうございました。

大会実行委員長

L.齋 藤 金 廣



地区運営方針「魅力ある、そして楽しいクラブ作りを目指し、会員維持、会員増強に努めてまいりましょう」を受け、浅賀ガバナーの指導の下『楽しくなければライオンズじゃない』を合言葉に準備を進めてまいりましたが、いかがでしたか?予算の関係で一度は八神純子トーク&ライブショウを断念しようとしましたが、浅賀ガバナーの、ライオンズクラブと同じウィサーブの志を持っている八神純子さんのショウを実現したいとの強い要望があり、最初設営を業者に頼むはずだったのを、5R2ゾーンのメンバー協力の元、4月25日会場にイス・テーブルを並べたり、テントを設営したりと準備を進めました。また28日には会場の片付を行いましたが、誰一人不平も言わず一生懸命働いて頂き、大変感謝して

います。また上野サイン様はじめ業者の方々にも多大な御協力を頂き、改めて感謝申し上げます。

お陰様で、八神純子トーク&ライブショウを開く事が出来、332E地区の参加者の皆様には喜んで頂けた事と思います。また残念だったのは、楽しんで頂こうと企画した「にぎわい広場」ですが、たくさん的人に準備して頂きましたが、悪天候に見舞われ、皆様に寒い思いをさせた事です。資格審査からガバナー晩餐会まで移動する事なく、1会場で行う事が出来た事は良かったと思います。また5R2ゾーンで2年続けた事で河北ライオンズクラブの方々と仲良くなり、5月13日に藤島ライオンズクラブ4名でゴルフをしたり、お酒を飲んだりの交流をしてきます。その時今年の年次大会の評価と感想を聞きたいと思います。不都合をおかけした方々もあると思いますが、皆で一生懸命やった結果ですので、受け入れて頂ければ幸いです。

最後になりますが、この大会に関わったメンバーを含むすべての関係者に感謝します。
ありがとうございました。

第65回 地区年次大会記念アクティビティ



藤島歴史公園 (Hisu 花) へ
イルミネーションを贈呈



緊急災害支援チャリティミニライブ
八神純子トーク＆ライブ



献血アクティビティ





第65回地区年次大会

開催日 2019年4月27日(土)

開催場所 鶴岡市藤島体育館

大会登録



第65回地区年次大会	
エントランス	代議員登録受付、委員会付
大会本部（議員室）	9:30～9:40
資格審査委員会	
研修室	9:40～9:50
指名選挙委員会	
エントランス	9:50～10:50
地区カラーバー、第二副地区カラーバー、旗手	
研修室	10:10～10:40
議事運営委員会	
屋外練習場	10:50～11:05
代議員総会（前半）	
屋外練習場	11:10～11:40
第1分科会	
会議室	11:10～11:40
第2分科会	
屋外練習場	11:10～11:40
第3分科会	
屋外練習場	11:45～12:15
代議員総会（後半）	



オープニング



大会式典



ご来賓祝辞



山形県副知事
若松正俊様



鶴岡市長
皆川 治様



国際理事
L.安澤 莊一様



チャリティミニライブ



晩餐会



第3回 キャビネット会議開催

2019年2月20日
天童市 ほほえみの宿 滝の湯

ライオンズクラブ332-E地区
キャビネット幹事 L.佐藤 吉一
(藤島LC)

第3回キャビネット会議及び第4回ゾーンチェアパーソン会議が平成31年2月20日 天童市 ほほえみの宿 滝の湯にて開催した。

主な議題は本年地区会計中間報告及び監査報告、ガバナー選出・次期第一第二副地区ガバナーの承認の件及び第65回地区年次大会の詳細の承認であり満場一致で採択した。

ガバナー選出、次期第一第二副地区ガバナー候補者より挨拶をいただき、新鮮な思いをキャビネット役員全員が拝聴し賛成ばかりの拍手であった。

この時期になると次期のガバナー及び次期第一第二副地区ガバナー候補者の案件が議題に上がる。ライオンズクラブは準備周到な団体であることを再認識した。

その他今期の重点事業である①LCIF100の件②会員増強の件について全員で協議し確認し合った。毎回同じ議題で恐縮であるが必ず達成したいというガバナーの思いをゾーンチェアパーソン及びキャビネット役員と共有した。各委員とも活発に意見を交わし素晴らしい会議であった。

地区年次大会も残り2か月余り、同じゾーンにおいて2年連続となる大会であることからどんな大会になるのか楽しみである。



第4回 キャビネット会議開催

2019年3月29日
鶴岡市 東京第一ホテル 鶴岡
ライオンズクラブ332-E地区
キャビネット幹事 L.佐藤 吉一
(藤島LC)

第4回キャビネット会議が3月29日鶴岡の東京第一ホテル鶴岡にて開催した。第3回から1ヶ月余りの開催であったが、年次大会に提出する議案を審議するために必要な会議であった。以前第4回キャビネット会議は年次大会後、一年の活動の報告会として6月に開催するのが慣例であったが、昨年より年次大会前にすることに正式の形に変更した。

議案数が少ない中で鶴岡での開催であったが、ほぼ全員に参加いただいた。年次大会に提出議案について審議いただき全員の賛同を得た。その後各コーディネーター及び委員長から活動報告及び今後の事業について説明をいただいた。

キャビネット会議前の第5回ゾーンチェアパーソン会議においては、LCIF100キャンペーンについてゾーンごとの着地点をお話しいただいた。ゾーンごとに多少の温度差があるようであるがほとんどのゾーンにおいて第5回キャビネット報告会まで達成の確認をした。

キャビネット会議の後に年次大会発表アワードの表彰審査会をゾーンティアパーソンとともに開催し決定した。その後懇親会を開催し楽しい鶴岡の夜を堪能した。



2018～2019年度 グランプリ受賞

山形 LC 結成 60 周年記念チャリティ事業

「山形市内中学・高校吹奏楽フェスティバル」



山形市内の中学生・高校生の皆さんから「是非来年も…」と大変好評をいただき、継続して15年目の事業になります。子供たちにとっては、3年生が抜けた秋の新体制で行う最初の発表会となり各校にとっても新人戦的要素を含む重要な事業となっているようです。今年度も10月21(日)やまぎんホール(山形県県民会館)にて開催致しました。中学校：5校・高等学校：5校 合計10校の吹奏楽部約500名が出演し、会場も1,100名の観客でいっぱいになりました。各団体の演奏においても各々工夫を凝らし、寸劇のパフォーマンスを盛り込んだり、動きを伴う演奏をしたりと会場がいっきに盛り上がる場面もありました。奏者と聴者が音楽で結ばれ、癒しのひとときを過ごすことができました。この事業は、山形LC最大のアクティビティで、『例会』として全員で取り組み、一般市民には、市報

山形ライオンズクラブ
L.矢野尚規



掲載と各報道機関への記事掲載を依頼し、より多くの方に足を運んいただける様、呼びかけをしました。

今年度は、「60周年記念チャリティー事業」として地元の子供達に役に立てる事業をしたいとの思いから山形市内の公立保育園に大型ベビーカーを寄贈しました。

フェスティバル当日には、山形市長 佐藤孝弘様より感謝状を頂く事が出来ました。

青少年育成事業として、中学生・高校生の発表の場を提供する事で交流と吹奏楽活動の活性化に繋がっていると考えています。また、チケットやプログラムの売り上げで大型ベビーカーを購入し更に子供たちの役に立てていただける事は、大変喜ばしいことです。このフェスティバルが、子供達の青少年育成に役立っていると確信しております。



ウイサーク選手権

藤島 LC 会長 L. 井 上 騒

優勝 「子どもたちの笑顔が見たい」～ライオンズクラブ立ち上がる～ 保育園遊具のペンキ塗り奉仕活動



保育園の遊具の塗装工事の見積もり依頼を受けたライオンズクラブのメンバーと共にペンキ塗りの奉仕活動を行い、すばらしい遊具をよみがえらせて子ども達を喜ばせるという、ライオンズクラブの熱い思いとライオン夫婦の愛の物語を発表しました。今回YCE来

日生を初めて受け入れましたので、奉仕活動に参加していただきました。YCE来日生は、フィンランドから来日した「サンニ プオスカリさん」20歳の女の子。日本に来る前に日本語を勉強していたので温泉で地元のおばちゃん達と会話を楽しんだりしている色白の女の子です。保育園で園児と楽しく遊んだり、遊具の塗装も大変喜んで参加しました。一見難しそうな今回の件も、多様なメンバーの力を寄せ集めれば実現できるということをメンバー全体が体感したことによって、会員がその達成感の上に、「こんなこともやればできる、今出来ることからはじめよう」ということで活動意欲をさらに高める事ができた事は今後の奉仕活動に大きな効果をもたらしたものと言えます。

米沢松川LC 会長 L. 伊 藤 剛

準優勝 街を明るくする シャッターペイント・スキー場食堂運営

「We Serve の原点、求められる奉仕を！」の会長方針は、惰性の継続アクトを見直して求められる奉仕を行おう！というものでしたが、継続アクト廃止は難しく、新しい二つのアクトが出来ました。一つは青少年育成事業の一環として山形大学の学生に対する「シャッター街を明るくするペイント」支援。これは産業理解特別講義を受けて活動していた学生からの協力要請で始まり、塗装業を営むクラブ員が材料を提供し、焼肉店のクラブ員がシャッターを提供、様々な障壁はあったものの、念願の第一号ペイントが完成。米沢市長をはじめマスコミも訪れた他「山形大学の教育活動の発展に多大に寄与したことに対し学部長より感謝状を頂きました。

二つ目は資金獲得事業の一環でのスキー場食堂運営



です。一ヵ所で継続して行う資金獲得事業は初めての試みで、場所となった小野川スキー場は、NPO法人が市の委託で土日

祝日のみ営業する市民スキー場です。毎年食堂のパートを雇い、人件費と相殺で収益ゼロ。NPO側から話があり、活動できるメンバーでシフトを組み約 100 万円程の売り上げを計上。最小限の人件費を払っても黒字になり、その収益金は、災害支援・社会福祉・青少年育成の各事業へ、並びに LCIF100 ドル献金の一部も捻出し「奉仕事業は資金獲得活動から始まる」という国際協会規約の基に、今後もクラブの事業拡大を図って参りたいと考えています。

天童中央LC 会長 L. 高 橋 良 人

第三位 『バジン五輪出場選手を天童市より育てよう』 ～未知なる感動の世界へスマッシュ！～

2月3日（日）山形市出身で、リオ五輪金メダリストの「タカマツペア」の生みの親である聖ウルスラ学院英智中高総監督の田所光男先生をお招きして、天童市内の中学校バトミントン部員並びに指導者のさらなる技術向上と、天童市から将来の五輪出場選手を育てるという事を目的とした研修会を行いました。

講演では、田所先生ご自身の幼少期の経験や選手時代のエピソード、リオ五輪の際のタカマツペアとのやり取りを交え、場面に応じた対応の大切さ、諦めない強いメンタルの保ち方、等のお話をいただき、実技では田所先生に加え、ウルスラ中学校の佐



久間コーチ他8名の部員の皆様のご協力のもと、きめ細やかな熱い指導をいただきました。普段体験できない一流の技術に触れ、参加した生徒からは技術的にも精神的にも大変刺激になったという意見を沢山頂戴することができ、メンバーの青少年育成や地域貢献の意識向上に繋がる事業をすることが出来ました。また、青少年育成にとどまることなく市民と共にスポーツを通した地域貢献事業を将来に繋げて行きたいと思います。

山形羽陽ライオンズクラブ 25周年記念式典

幹事 L. 井上 陽一



山形羽陽ライオンズクラブは2月16日(土)に結成25周年を迎えることができました。ホテルメトロポリタン山形で開催した記念式典には山形県知事吉村美栄子様、山形市長佐藤孝弘様を始めとする来賓の皆様、地区ガバナー L. 浅賀隆、キャビネット役員、姉妹クラブである東京ウエスト LC、ブランザークラブ関係者など約150名の参加をいただき盛大に開催することができました。

この度迎えた25周年はライオンズクラブではクオーターを意味する重要な記念と捉え、25周年記念式典実行委員長を中心に計画的にクラブ内でアクティビティ予算の積み立てを行い、記念アクティビティに注力しました。

○小学女子ソフトボールチームへ練習用品贈呈
○山形豊烈打撃保存会へ横断幕、紅白幕、法被の贈呈

○公益財団法人日本盲導犬協会仙台訓練センターへ盲導犬PR用コート、盲導犬学校キャラバン支援(盲導犬歩行体験、盲導犬に関する授業の実施)

○山形県障がい者スポーツ協会ヘリフト付障がい者用車両のリース代の一部として贈呈
中でも新規アクティビティである「盲導犬学校キャラバン」はクラブ内外からの反響が大きい活動となりました。

公益財団法人日本盲導犬協会仙台訓練センターの講師、PR犬、盲導犬利用者と共に、山形市立南山形小学校3年生の福祉授業として盲導犬の歩行体験、視覚障がい者の介添え歩行体験等の授業を2時間行いました。学校内に犬が居る非日常に子供たちは興奮しながらも講師の話を良く聞き、キラキラした目で授業に臨む姿が印象的でした。

今回の記念行事、記念アクティビティはクラブメンバーが最大限に出来る事を行い、協力し合った結果です。色々な苦労もありましたが、より一層団結力が増したことを感じます。

山形羽陽ライオンズクラブは、更に地域に根ざした奉仕活動を行い、ライオンズ精神を実現して参る所存であります。今後とも332-E地区における各クラブ皆様のご支援等を宜しくお願い申し上げます。

山形霞城ライオンズクラブ 45周年記念式典

会長 L. 鈴木 光弘

3月3日(日)、パレスグランデールにて45周年記念式典及び祝賀会を挙行いたしました。当日は、佐藤孝弘山形市長をはじめスペシャルオリンピックス日本・山形の遠藤正明理事長、山形板金工業組合の鬼澤義昭理事長にご臨席をいただき、また、L. 浅賀隆地区ガバナーやキャビネット役員、姉妹クラブであるいわきライオンズクラブ・福島西ライオンズクラブ及び1Rのブランザークラブから総勢177名の方々にご出席をいただきましたことに、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

式典は、「簡素の中にも厳かに」との方針のもとリハーサルを繰り返しましたが、本番では所要時間が見事に45分。出席者の中から45周年を意識したのかという冗談ともつかないお褒めの言葉をいただき恐縮をいたしました。

当クラブのアクティビティーは献血奉仕活動、青少年育成事業、障がい者支援事業、福祉活動支援事業等多様な活動を行っていますが、45周年の記念アクティビティーとして、山形市さくら保育

園に日除け付ベビーカー、スペシャルオリンピックス日本・山形へポロシャツやバドミントン用具、計測用プリンター等スポーツ用品一式を贈呈いたしました。それぞれの分野において、有意義に活用していただきたいと考えています。

祝賀会では、山形舞子より春にちなんだ祝舞を楚々として踊ってもらい、アトラクションでは一転してワイヴァンズチアリーダーから躍動感あふれるダンスを披露してもらいました。普段見ることの少ない若い方々の静と動のコントラストを楽しんでいただけたものと思います。霞城ライオンズのラベルを張ったお酒も用意いたしましたが、酔うほどに笑い声の絶えない大変盛り上げていただいた祝宴になったものと思います。

5年後には、大きな節目となる結成50周年を迎えます。当クラブのモットーを忘れず、これからも「奉仕」と「友愛」に邁進したいと考えています。



天童ライオンズクラブ 50周年記念式典

会長 L. 山本 久男

新緑若葉に映えてあざやかなこの季節、さる4月6日に天童ライオンズクラブチャーターナイト50周年記念式典を天童ホテルにて挙行致しました。

当クラブの会員でもあります天童市長 山本信治様、そして姉妹クラブであります多賀城ライオンズクラブの会員の多賀城市長 菊地健次郎様はじめ来賓の皆様方、そしてスポンサークラブの山形蔵王ライオンズクラブ、姉妹クラブの多賀城ライオンズクラブ、そして多くのプラザークラブの方々のご臨席を賜り、盛大に開催する事ができましたことに、改めて感謝申し上げます。

50周年記念アクティビティ事業として、天童市に青少年育成事業支援として50万円の贈呈をしました。また、姉妹クラブの多賀城ライオンズクラブと合同で、多賀城市中央公園に記念植樹、また、親子クラブであります、天童王将ライオンズクラブ・天童中央ライオンズクラブで市内の幼児教育施設3カ所に植樹を行いました。木は、天童市の木「もみじ」と春と秋に二度花が咲く「十月桜」です。

式典終了後の祝宴では、仙台ベンチャーズを迎えて、懐かしいベンチャーズサウンドの生演奏を楽しんでいただきました。会場が大盛り上がり、とても賑やかな祝宴となりました。

天童ライオンズクラブは、これからもウイ・サーブの理念のもと、先輩ライオン達が築いてきた50年の重みを感じながら、さらなる一歩を前に進めていきたいと思います。

今後ともご指導いただきます様、宜しくお願い致します。



山形ライオンズクラブ 60周年記念式典

会長 L. 矢野 尚規



桜満開の4月20日(土) ホテルキャッスルにて、山形県知事 吉村美栄子様、山形市長 佐藤孝弘様、浅賀 隆地区ガバナーをはじめキャビネット役員の皆様、又、スポンサークラブであります仙台ライオンズクラブ、姉妹クラブであります遠くは台湾の台中市台中獅子会と横浜寿ライオンズクラブの皆様、そして多くのプラザークラブの皆様方のご臨席のもと、結成60周年記念式典を開催いたしました。

当クラブは、1959年6月に仙台ライオンズクラブをスポンサークラブとして、日本で129番目、東北では4番目、そして山形県では最初のライオンズクラブとして誕生いたしました。以来60年、会員の弛ま

ざる努力と、「ウイサーブ」の精神の下、地域社会の人々と共に社会奉仕活動に精進して参りました。

このたび継続事業に加えて、60周年記念事業として2つのアクティビティを行いました。一つは、昨年10月に行いました山形市内中学・高校吹奏楽フェスティバルにおいて、「60周年記念チャリティ事業」として、少子化の今、これからの時代を担う子供たちが、より安全にそして安心して保育園での活動ができますよう、大型ベビーカー2台を寄贈いたしました。二つ目は、山形の観光名所である山寺が「紅花と山寺」の日本遺産認定を契機に、近年のインバウンドによる外国人観光客の飛躍的な増加に伴い、観光案内看板は山形市の文化振興事業の促進をはじめ、山形市の観光政策、地域経済の活性化を図る上で大いに寄与するという観点から、多言語による観光案内看板二基を寄贈いたしました。

今後も更なるライオニズムの高揚に努め、地域社会の皆様方から期待され、そしてさらに貢献できるクラブ創りに邁進して参りたいと思っております。元号が平成から令和に変わろうとしている今、会員一同新たな歴史を刻んで参りたいと思っておりますので、皆様方の尚一層のご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

一年を振り返って



332-E地区 第一副地区ガバナー

L. 伊 藤 明 彦 (山形蔵王LC)

4月27日開催されました第65回地区年次大会に於いて次期地区ガバナーとして選出をしていただきました。二票の反対票がありましたが叱咤激励の「愛の鞭」であるということで前向きに受け止めているところです。

青天の霹靂で第二副地区ガバナーに立候補させていただくことになってから早いもので二年が経過いたしました。この二年間様々な会合・研修会に参加させていただき、その集大成として今年の2月、今年度から新たに開催されることになった第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクトセミナーに参加いたしました。米国イリノイ州シカゴにおいて開催されその目的は、自らの責任を理解し、運営管理およびリーダーシップの技能を磨き上げられるよう、その意欲を喚起し、われわれの使命「ウイサーブ」への積極的な献身を促すことです。

韓国・釜山第一ライオンズクラブに籍を置くジュンヨル・チョイ次期国際会長のテーマは「多様性でウイ・サーブ」。終始一貫して、ビジョンと情熱をもち、全力で取り組むことの大切さ、困っている人を決して見過ごさないことが大切であると述べられました。また、ガバナーは組織のトップに位置するのではなく下から組織を支えるサーバントであるとも述べられました。

間もなく次年度がスタートいたします。ガバナーテーマ、アクティビティ・スローガンの「持続可能性」が地区運営の指針となります。目標達成に向けて全力で取り組んで行きますのでライオン各位のご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



332-E地区 第二副地区ガバナー

L. 小 関 利 一 (長井LC)

私は、第二副地区ガバナーとして活動を約1年間させて頂き、無我夢中でした。

その間、全国レベル、332-E地区の会議、元地区ガバナー・名誉顧問連絡会議、各種研修会、行事、イベント等に参加させて頂き、ライオンズクラブの活動について理解を少しづつ深めることができました。

今年度、グラドン国際会長テーマは「We・Serve」。

ライオンズクラブの原点は「We・Serve」の精神のもと、地域の人々に、本当に必要とされる奉仕活動を続け、情勢の変化に対応した活動を展開することです。

「奉仕」はライオンズの存在理由です。

私達が長く取り組んできた、視力保護、飢餓や貧困の緩和、環境保全については今後も支援する必要がなされ、新たなニーズとして小児がんと糖尿病への支援が加えられました。

私も微力ではありますが、皆様共々真剣に取組んでいく覚悟でありますので、332-E地区的ライオン各位のご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



地区 LCIF コーディネーター

L. 野川亘
(天童舞鶴LC)

今年度 2010 年から 2013 年度まで 3 年間に渡っての全世界のライオンズクラブ一丸となっての「LCIF キャンペーン 100」“奉仕に力を”が展開中です。初年度の今年 1 年間クラブ LCIF キャンペーン 100 コーディネーターはじめ地区会員の皆様には御理解御協力を頂いており感謝申し上げます。

332-E 地区寄付金の実績です

2010 年度地区 目標 \$160,500 (\$100×1,605 名)
実績 \$134,857(2019年4月23日現在)
達成率 84%

内訳 ◎MJF \$1,000 \$55,000 55 件
\$100 \$40,200 402 件
その他 \$30,721
計 \$125,921

◎MJF 以外 クラブ寄付金等 \$8,936

地区寄付金・災害寄付金除きクラブ参加率 82%
会員 1 名平均 \$84

今後とも引き継ぎご協力宜しくお願ひ申し上げます。

地区 GMT コーディネーター

L. 安孫子健彦
(山形霞城LC)

本年度の各クラブ純目標は 215 名となっていますが、3 月末時点での実入会者は 93 名、退会者は 85 名となり地区純増は 8 名です。332 MD 地区での会員純増数は、青森は 10 名、岩手は 19 名、宮城は 7 名、福島は 9 名、秋田は 7 名となっています。日本ライオンズでのマイナス純増は全 40 地区のうち、9 区に及んでいます。

ライオンズクラブの中で最も重要なことは会員増強である、ということは各クラブとも理解しご尽力されていることだと思いますが、結果は中々難しい現実となっています。例年 6 月期末の退会者数が急増しており、その原因は何処にあったのかを真剣に議論し、解明する必要があると思います。新会員の獲得も重要なことではありますが、それ以上に退会者を防止し会員数を維持することと、いわゆる「リテンション」は喫緊の課題です。現在の会員のクラブに対する興味と関心を高め、退会防止に努めることは極めて重要なことです。ライオン各位の更なるご協力、ご指導を重ねてお願ひ申し上げます。



地区 GLT コーディネーター

L. 屋代久
(米沢LC)

今年度も各委員会と共に多くの研修会や勉強会を開催しました。その目的は、情報の共有化と委員会メンバーのリーダーシップの強化です。その意味では目的を果たせたと思っております。

FWT とは全国に先駆け糖尿病のレシピコンテストを行い、ゾーンの女性会員や大学などから協力を得、GST に刺激を与えた。

次世代の会とは元国際理事 L. 後藤隆一をコーディネーターに迎え、全国の若手と交流をしました。2016 年に GLT の組織として誕生した青年アカデミーも、今や準地区の中心メンバーに成長し心強い限りであります。故、委員会の活動方針もバージョンアップしてもよい時期に来ているのではないでしょうか。

GST とは昨年に引き続き、当準地区独自の第 2 回 ウィーサーブ選手権を開催、情報の共有化やアクティビティの推進そして新しいリーダーの発掘にも寄与したと思っています。

今期特に力を入れてきた事に副 ZC の教育があります。今迄の ZC マニアルを準地区使用に作り替え、映像を取り入れ作成しました。今後の ZC 活動に必ず役に立つと考えています。



地区 GST コーディネーター

L. 佐野宏美
(天童中央LC)

浅賀ガバナーの方針の基、GST の本年度については、LCI フォワード奉仕フレームの 1 つである糖尿病啓発事業の理解と推進、加えてスペシャルオリンピックスへの支援に特化して活動いたしました。

糖尿病啓発事業については、各クラブのご理解の基、各クラブで講師をお招きしてのセミナー、糖尿病レシピを作成しての例会弁当での試食等々、アクションを起こしていただきました。その事により、糖尿病が我々メンバーにとっても切実な課題であり、奉仕事業としても新たなる未開拓分野として的を得ているという思いを共有できたのではないかと思います。

スペシャルオリンピックスへの支援については、角田エリアアリーダーが先駆して支援の下地をつくってくださっていたので、具体的に、スペシャルオリンピックス山形へ、第 3 R のチャリティゴルフの協力会を安達 ZC、須藤 ZC のご理解により寄贈させていただき大変喜んでいただきました。今後も心を寄せて支援すべき思います。

結びに質の高い奉仕活動こそがライオンズクラブの存在価値であると考えた時に、テーマを絞った訳ですから、短期的視点だけでなく、一何を一いつまで一時間軸を明確にメンバーに示しながら活動していくなければとあらためて強く思いました。一年間ご協力心より感謝申し上げます。



地区 FWT コーディネーター

L. 横山 昭子
(米沢松川LC)

今年度は、浅賀ガバナーの重点目標である「糖尿病啓発事業の理解と推進」への取り組みの一環として、FWT・GLT・GST 合同で「糖尿病食レシピコンテスト」を開催することができました。コンテストにご協力いただいた各ゾーンチェアパーソン、FWT クラブリーダー、会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。この取り組みは全国的にも大変注目され、ライオン誌 2019 年 3・4 月号紙面とウェブ版に取り上げられました。また、各ゾーンで工夫したレシピはライオン誌ウェブ版で紹介されています。332E 地区での活動が、全国のライオンズメンバーに認知していただけたことを、大変うれしく思います。

また 6 月には「第2回 332 複合地区 FWT フェスタ in 東根・天童」が開催されます。E 地区がホストということで、332 複合地区からの参加者をおもてなしするために、何度も会議をしながら準備を進めてきました。当日は神町陸上自衛隊第六師団の見学、東日本大震災での経験を通して、災害時のライオンズの後方支援の在り方を学びます。332E 地区からも FWT クラブリーダー、クラブアラート委員を中心多く会員が参加します。ぜひ複合地区 FWT メンバーとの交流を深めていただきたいと思います。

この 1 年間、地区の皆様には FWT の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

PR・IT・ライオンズ情報・ 大会参加委員会委員長

L. 寒河江 潤一
(天童舞鶴LC)

今期は、平成から令和に元号が変わり、女性初のグドラン国際会長誕生の年に、浅賀隆地区ガバナーのもと、キャビネット構成員として一年間務めさせていただき、ありがとうございました。国際協会ではウェブサイトを一新し、Youtube, Facebook, Twitter など、頻繁に情報をアップして PR を行っています。スマホの普及に伴い情報発信や、伝達方法の変化について行くのが大変という方も大勢いらっしゃると思いますが、是非各種コンテンツをご覧いただきますようお願いをいたします。平和ポスターコンテストでは、多数の出品をいただきまして誠にありがとうございました。複合地区選考会では、地区ガバナー賞受賞の高橋みなみさん(米沢市立南原中)は、惜しくも次点でした。各クラブのご協力に対し感謝を申し上げます。各種大会参加に関しては、地区年次大会(鶴岡市)、複合年次大会(仙台市)、国際大会(ミラノ)、次年度になりますが、OSEAL フォーラム(広島市)もございます。多くの皆さんと会場でお目にかかりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



会則・長期計画リサーチ・ アラート委員会委員長

L. 山下 里美
(山形アルカディアLC)

L. 浅賀 隆 地区ガバナーのもと、委員長を拝命し一年を振り返り、発足当時から日本各地で度重なる自然災害が発生し、地区会員の皆様にはその必要な物資や資金をご協力いただき地区内ほか他地区の地域に対して、多くの支援ができましたこと、またその必要性から各クラブアラート委員の設置を容認していただきましたこと誠に感謝申し上げます。

わたくし事、委員長としてリーダーシップを発揮できたか分かりませんが、この委員会を通し、私たちはライオンズとして地域に貢献し、仲間作りと友情を手に入れることと心構えを学ぶことができたのではないかでしょうか、それに共感し今後のクラブ会員維持、新会員の獲得に貢献できるものと信じております。

新たなる新元号、「令和」の時代になり、災害がないことを願うとともに、皆様のますますのご健勝をご祈念申し上げ、一年間委員長を務めさせていただき、ありがとうございました。

国際協会・奉仕事業・ 環境保全委員会委員長

L. 鎌 上 徹
(中山LC)

国際協会 332-E 地区、国際協会・奉仕事業・環境保全委員会の委員長として任命されました。納得のいかない一年を過ごしてしまいました。

各委員会の積極的な活動が行われる中、キャビネット会議にも参加できず迷惑をかけてしましましたキャビネット構成員、事務局員、委員会メンバーには申し訳ない気持ちです。しかしながら各ライオンズクラブにおいては、ガバナーテーマ、アクティビティスローガンを元にして、ライオンズクラブの主となる奉仕活動や環境保全運動など様々な活動が行われております。

天童中央ライオンズクラブが 11 月 6 日に「糖尿病の食事について」の講師例会を開くなど、積極的に国際協会で取り上げている表題に関わっています。

今後このような役に関わることがあれば、今回の反省をもとにライオンズクラブのメンバーとしてしっかりとした仕事ができればと思っています。



YCE 委員会委員長

L. 神 林 守
(藤島LC)

E 地区会員各位の協力を頂きまして、今期も無事 YCE 事業を終えることが出来ました事に心から感謝申し上げます。

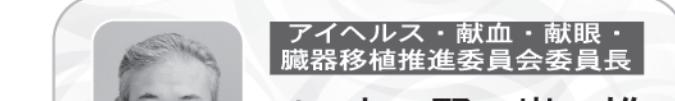
特に夏季来日生の受け入れに関しては白鷹 LC と藤島 LC が事前に手を上げて頂き、募集をかける前にホストクラブ・ホストファミリーが決まりました。各地区でホストファミリーが中々決まりらず苦慮している中、E 地区の YCE 事業に対する見識の高さが伺えます。

今回来日したフィンランドのサンニ・ بواسカリさんは、日本が大好きで日本語も話せる 20 歳の娘でした。ホストファミリーの梅津家、成沢家ともに家族ぐるみで仲良くなりサンニさんもとても満足して帰国されました。

冬季は長井 LC がスポンサークラブとなり、20 歳の手塚花菜さんをマレーシアに派遣しました。長井 LC からは 2 年連続でスポンサークラブを受け持つて頂き感謝致します。

今期は夏季来日生、ホストクラブ・ホストファミリー、冬季派遣生、スポンサークラブともに非常に人に恵まれて無事成功裏に終わると感じております。

2019 年も台湾からの夏季来日生の受け入れ、米沢松川 LC がスポンサークラブとして色麻陽香さんの台湾への夏季派遣が決まっております。今後も絶大なるご協力をお願いいたします！



アイヘルス・献血・献眼・臓器移植推進委員会委員長

L. 上 野 岩 雄
(鶴岡朝陽LC)

今期のガバナー重点目標である献血 1 万人運動更なる推進①若年層への献血の推進②アイヘルス、献眼、臓器移植の周知と記録を目指し進めてまいりました。

献血活動は「ライオンズクラブの奉仕活動の中心的なアクティビティ」として重要な役割を占めており各クラブの積極的に活動して頂き心から感謝申し上げます。

目標の 1 万人以上の献血者は達成できる状況であります。各セミナーにも参加し効果的な献血推進が出来ました。若年層の献血推進に関しても可能な限り情報発信をし、ある程度の効果が得られました。反省点は各クラブのあるいはリジョン、ゾーンの地域特性を活かした活動の温度差があり献血受診者のばらつきが見受けられ今後の課題と反省をしております。

アイヘルス、献眼、臓器移植推進に関しては、セミナーに参加したにも関わらず理解不足と認識しております。まずはセミナー参加を積極的に行い理解の不足を補い、活動を広めて行くという反省の 1 年間でありましたがキヤビネット構成員、事務局員、各ライオンズメンバーの方々の御協力に心から感謝を申し上げます。



ライオンズクラブ青少年指導委員会委員長

L. 田 村 晃
(藤島LC)

昨年に続き、鶴岡からガバナー浅賀 隆を派出させていただき、同時に私も副委員長から委員長へと任命頂きましたが今年度一年過ぎようとしております。活動としては、①ライフスキル活動を進めるためのセミナー開催 2 月 25 日真室川あさひ小学校にて認定講師中村千恵子様により実施。参加者は地区教職員、ガバナー他ライオン関係者等多数の出席で好評を得ました。進め方によつてはワークショップ開催への期待もできます。②ワークショップとしては前期ガバナー伴和香子様の協力も頂き 8 月 8 日 9 日 2 日間既定の学習を受けていただきました来期フォローアップ研修会を勧めライフスキル教育の普及になればと思います。③薬物乱用防止教育認定講師養成講座 大きな活動目標の一つで最近マスコミの話題にもなっている 薬物乱用問題 活動の中では身近に感じられる気がします。今年度も 12 月に山形県高度技術研究開発センターで開催することができました。65 名からの参加を頂き数回出席している方もいらっしゃいました。認定講師の資格を生かして、各クラブの地域で怖さ危険さを広めて頂きたいと思います。委員会として副委員長をはじめ全員の協力が実を結びました。浅賀ガバナーをはじめ各キャビネット事務局の皆さん地区ライオンズクラブの皆様どうもありがとうございました来期も引き続きよろしくおねがいいたします。



次世代リーダーシップ研究会委員長

L. 遠 藤 隆 一
(米沢松川LC)

この一年、「ライオンズの未来はどうあるべきか、未来に向けてどのような改革を進めていかなければならぬのか」を熱く語り合える「ナカマづくり」を進め、心からライオンズであることを喜び、ライオンズを楽しみ、革新的かつ創造的にリーダーシップを発揮、活躍できるリーダーの育成を図ること、そうした委員長方針のもと活動して参りました。

10 月には、上級ライオンズ・リーダーシップ研究会で数多くのガバナーを指導なされてきた元国際理事の L. 後藤隆一を迎えて、「リーダーシップセミナー」を開催。5 月には、正に時代のニューリーダー、330-A 地区第一副地区ガバナー予定者 L. 進藤義夫、333-C 地区 6 R 1 Z ゾーン・チャーチアパーソン L. 安見一美、ご両名を講師に迎え、「若手フォーラム in 山形」を開催。参加された皆様のリーダーシップによって各クラブに化学反応をもたらし、地区の活性化につながることをご期待致します。

当委員会は次年度より「青年アカデミー委員会」と名称を変えますが、引き続きのご協力、ご指導をお願い致します。1 年間、誠にありがとうございました。



1R1Zゾーン・チアパーソン
L. 布施 英夫
(山形蔵王LC)

1R1Zのゾーンチア・パーソンの役目をおおせつかりましたが、あっという間に時がすぎ役目を無事終えることができました。

今年度は浅賀ガバナーの「友愛、奉仕そして未来への約束」テーマと糖尿病啓発・LCIF 献金など8つの重点目標に向け、ゾーン内6クラブともアクティビティやクラブ運営に努めていただき、感謝申し上げます。

この1年を通してキャビネット役員をはじめゾーン内の各クラブ各リジョンの方々と知り合え、一緒に活動出来まして大変勉強になりました。

ZCを通して新しい仲間が出来たことも私の宝であります。私を支えてくれた仲間と家族に感謝申し上げ、1R各クラブの益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

1年間、誠にありがとうございました。



1R2Zゾーン・チアパーソン
L. 平澤 一幸
(山形紅花LC)

1R・2Zのゾーン・チアパーソンとしてお世話になって一年を迎えるようとしておりますが、多くの事業や会議等出席させていただき多忙の中にも充実したものがありました。

しかし、始まったころは日本各地で自然が猛威をふるい、西日本豪雨そして北海道豪雨や震災とたて続けに発生した災害に「アラート委員会」の迅速な行動や報告をお聞きし深く感銘を受けました。

今年は我がゾーン5クラブ中、3クラブが周年記念を迎えるました。本当に素晴らしいことに巡り合えて嬉しかったです。

浅賀隆ガバナーの目標の中、一番大変だったのはLCIF100キャンペーンでした。諮問委員会では、毎回各クラブにお願いを重ねて参りました。そして何とか目標が達成出来るようですので、皆様の暖かい気持ちを頂いた事、感謝に堪えません。ありがとうございました。

会員数では、家族会員の退会において激減致しましたが、次年度は増強になると期待しております。最後に浅賀隆ガバナーのもとゾーン・チアパーソンとしてお世話になったこと、又、皆様からの御厚情のもとでやり抜くことが出来ましたこと、この紙面をお借りして御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



2R1Zゾーン・チアパーソン
L. 情野 優人
(米沢中央LC)

早いもので2R1ZのZCを拝命して1年が過ぎようとしています。

今年度はL.浅賀 隆ガバナーの「友愛、奉仕そして未来への約束」のテーマの元に活動してまいりました。

中でも新たに糖尿病問題に取り組むという事で、様々頑張ってまいりました。

間もなく新年度新体制になる訳でございますが、今後も良い事は継続し世界最大の奉仕団体の名に恥じぬ様、邁進してまいりたいと思います。

最後にライオンズ同志の皆様、1年間ご協力大変ありがとうございました。



2R2Zゾーン・チアパーソン
L. 石川 剛
(南陽LC)

1年間を振り返り、ゾーンの皆様には多大なるご協力を頂き何とか運営させていただきありがとうございました。

1年が長いと思っていた年度初めでしたが、クラブ訪問・ガバナー公式訪問・糖尿病レシピコンテスト等々初めての事業もあり、過ぎてみるとあつという間の一年でした。

ゾーン内クラブの会員減少により、LCIF100の今年度の目標達成が困難なクラブもありますが、各クラブ共、精一杯がんばって頂いている事に感謝したいと思います。

また、ゾーン内より長井ライオンズクラブ所属の小関利一 L が次年度第一副地区ガバナーに決定させて頂きました

最後に、2R2Zの皆様・キャビネット事務局の皆様、一年間大変お世話になり感謝と御礼を申し上げます。



3R1Z ゾーン・チアパーソン

L. 安 達 耕 二
(河北LC)

平成最後の4月27日(土)に鶴岡市で開催された第65回地区年次大会(寒かったのでいつまでも記憶に残る)、これでゾーン・チアパーソンの役目も終りになるのだなあと正直思いました。想い起こせばこの2年間、現役で働いて者は時間の調整が大変でした。お使い状を頂いたら極力参加しようと思いつながらもそれが叶わず残念やら申し訳ないと思っております。さて、仕事の手始めは諮問委員会でした。会場・登録料の設定、席札・会議資料の準備等々、事務局員初め多くのライオンズパーソンに助けて頂いて実施することが出来ました。紙面を借りて感謝・お礼を申し上げます。ここにおいてはLCIF100ドル献金で議論が大いに盛り上がったことが印象的でした。又、クラブ例会訪問につきましては、焼肉パーティー、芋煮会等に参加させて頂き楽しいひとときを過ごさせて頂きました。より一層関係が深まったと実感しております。

この1年間拙いゾーン・チアパーソンを支えて頂き衷心より感謝・お礼を申し上げてペンを置きます。



3R2Z ゾーン・チアパーソン

L. 須 藤 吉 重
(天童LC)

昨年度より引き続き六十里越えを通り鶴岡方面へドライブをさせていただきました。今年度は特にめまぐるしい忙しい1年だったような気がします。しかし、自分の中では特に充実していたと思います。

ZC会議では各地区においてクラブ運営の在り方やアクティビティなど、非常に多彩で工夫されているのが解りました。

当地区も各クラブにおいて独自な事業を詳細に計画され、実行に至っていることに感銘いたしました。各クラブ共、浅賀地区ガバナーのテーマに沿ったアクティビティを開催しており、力強く思っております。ゾーン・チアパーソンとして、もっとも大事な役目であるキャビネットとクラブ間の橋渡しは勿論、会員との相互理解と調和をはかりながら活動して参りました。

今日まで、ご協力していただきましたキャビネット関係各位の皆様、2ゾーンのライオン各位に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



4R1Z ゾーン・チアパーソン

L. 青 柳 光 男
(村山LC)

332-E地区今年度ガバナーL.浅賀 隆のガバナーテーマ「友愛、奉仕そして未来への約束」を基に、私達ゾーン・チアパーソンは、テーマを達成出来る様に精一杯頑張ったつもりでした。特に重点目標LCIF100キャンペーン、全員納得するのが難しく最大の課題であり、なかなか一般会員にはLCIFの中身や使い道がわからぬようで浸透しませんでした。しかしこまだ2ヶ月ありますから、これから一生懸命訴えて行きたいと思っています。振り返ってみると、ガバナー公式訪問や糖尿病レシピコンテスト、ウイサーブ選手権等々は無事に終え、大成功だったと誇りに思っています。最後に関係各位者・4R1Zの皆様1年間ご協力に感謝申し上げます。



4R2Z ゾーン・チアパーソン

L. 伊 藤 幸 喜
(新庄もみの木LC)

昨年度は副Z-Cとして今年度はZ-Cを仰せつかり、キャビネット事務局並びに各クラブまた関係各位のご支援、ご協力によりまして無事1年間その職を務めさせて頂くことができました事を心より感謝し、御礼申し上げます。特に共に行動をして下さった副Z-Cには深く御礼申し上げます。

元よりZ-Cの役割は国際会長並びに地区ガバナーの方針をゾーン内の各クラブに伝達し、ライオンズクラブ国際協会の組織活動を有効かつ有意義に実行すると同時に各クラブの活動状況等を地区ガバナーに報告し、組織活動をより活性化するためのパイプ役としてその責務があると認識しております。時代の変化とニーズの多様化によりライオンズクラブ活動の在り方そのものが問われている現代において、従前からのアクティビティーを検証し、新たな組織活動への取り組みの必要性を痛感する年でもありました。

ライオンズクラブの最重要課題は何といっても「会員増強」であります。会員増強無くして充実したアクティビティーや奉仕活動は出来ませんし、機能的な組織活動も成り立ちません。

来年度におきましては初心に帰りましてこれまで以上にライオンズクラブ活動に務めて参りたいと思います。ライオンズクラブの益々の発展を切に願いますとともに今年度お世話を成りました皆様に感謝を申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。一年間ありがとうございました。



5R1Z ゾーン・チェアパーソン

L. 堀 多恵
(酒田山王LC)

ゾーン・チェアパーソンという大役を仰せつかり、手探りで突き進んだ1年間の活動でしたが、皆様にご指導を頂き、役職を全うすることができました。この役職をさせていただいたことでライオンズクラブを一步前進して知ることが出来た様に思います。

浅賀ガバナーテーマ「友愛・奉仕そして未来への約束」のもと、LCIF100キャンペーン、糖尿病啓発事業など微力ながら事業に取り組むことが出来たのは、同じ目的をもったライオンズクラブの会員の皆様、お一人お一人のお力があつてこそだと確信しております。

ガバナー公式訪問の際も、所属クラブはじめ他クラブの方々からもたくさんのアドバイスをいただきながら無事終えることが出来ました。私一人では出来ない事でしたが、ゾーンの皆様のお力があり一緒に乗り越えることが出来たと思います。

1年間多くの事業に賛同を頂きながら、楽しくライオンズ活動を行うことが出来ました。ガバナーはじめ、キャビネットの方々、事務局の皆様、会員の皆様に感謝と御礼を申し上げたいと思います。

ありがとうございました。



5R2Z ゾーン・チェアパーソン

L. 五十嵐 靖
(鶴岡中央LC)

地区ガバナーL. 浅賀隆のもと、ガバナーテーマ「友愛・奉仕 そして未来への約束」を果たすため、またガバナー重点目標を達成するため、更に第65回地区年次大会の成功のためメンバーの方々には大変な御負担をお願いしてまいりました。それらに対してゾーン内の各クラブ役員をはじめとする全メンバーの方々から絶大なる御理解と御協力を賜りました事は第5R第2Zのゾーン・チェアパーソンとしてとても光栄に思います。各クラブ役員をはじめとする全メンバーの方々に厚く御礼申し上げます。

今年度もゾーン内8クラブへの例会訪問、ゾーン・チェアパーソン会議、キャビネット会議、ガバナー諮問委員会、ガバナー公式訪問、糖尿病レシピコンテスト、ゾーン内合同新年会、WeServe選手権コンテスト、ニューメンバーオリエンテーション、表彰審査会、キャビネット報告会などたくさんの事業に参加させて頂きました。どのクラブにおましても活発な活動、意見交換がありとても頼もしく思える1年でございました。

来年度の地区ガバナーをはじめとするキャビネット、ゾーン・チェアパーソンに対してもクラブ役員をはじめとするクラブメンバー方々には本年度同様変わらぬ御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。1年間ありがとうございます。

編集後記

藤の花が咲き誇り、木々の新緑がまぶしく今日この頃、機関誌「最上川」の編集をさせて戴き1年がたとうとしています。

この1年間、皆様からのご支援、ご指導、寄稿等のご協力を戴きましたことに心より感謝申し上げます。

特にキャビネット三役、地区コーディネーター、地区委員長、ゾーン・チェアパーソン、キャビネット事務局の方々には心より感謝申し上げます。

各クラブ、各委員会の活動、奉仕活動は広範囲にわたり、地域社会に貢献し評価を受けております。

ライオンズクラブ332-地区の各クラブ、ライオンのご活躍、ご発展をご祈念致します。

この1年間編集局のメンバーの方々、本当にありがとうございました。

地区機関誌編集委員長 L. 大沼 富美雄

発明は俺の命、

自分の発明が世のため人のために
なるならば 財産もからだも惜しくない

庄内が生んだ大発明王 齋藤外市



1865年（慶應元年）当時東田川郡長沼村上新田（現鶴岡市長沼）に農家の長男として生まれる。生家は20町歩の地主だった。小学校（当時は現長雲寺）は4年までしか在学しなかったが、読書や機械類の工夫を怠らなかった。少年の時から「我が国を世界に負けない立派な国にしよう。」と大望を抱き、そのためには外国貿易を盛んにして国力を充実し、そのために兵器を発明するというのが信念であった早くから発明にかかり、25歳の時、軍用軽気球、潜航艇を発明して陸海軍に献納した。

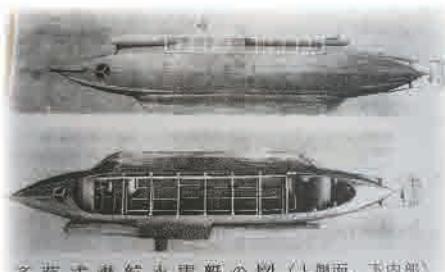
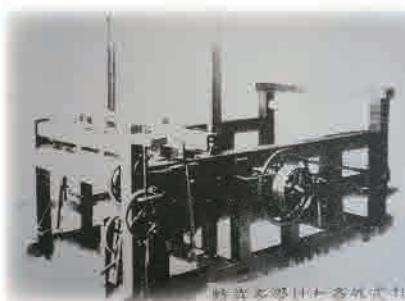
また輸出向け羽二重に目をつけ、28歳の時、手織り足踏み式から抜け出して、力織機の発明に着手した。学歴のなかった彼は、他人の製作や外国製を一切参考にせず、自宅の土蔵を研究室にて、一人コツコツと勉強した。こうして祖先伝来の財産をほとんど使い果たし、7年がかりで明治36年、齋外式力織機を完成した。

この機械は外国製に比べて価格が安く作業が軽便なので、鶴岡市内は勿論、先進地の福井、富山でも使用され、当時全国使用機械の半数を占めた。彼はまた軽目縫子（絹織物）を織ることを研究し、明治39年、遂に精巧な軽目縫子（絹織物）を製作し、我が国の輸出品目の中に軽目縫子（絹織物）を増加させた。明治45年48歳の彼は、数多くの発明の功績によって藍綬褒章を授与された。翌年は独力で飛行機を製作して飛ばし、

鶴岡織物株式会社、鶴岡ガス株式会社を設立し、鶴岡町会議員も勤めて、現在鶴岡のシルク、機械産業の発展に寄与した。

1926年（大正15年）1月31日 62歳の生涯を閉じた。

墓所は長雲寺にある。



齋外式潜航水雷艇の図（上側面、下内部）

